

## 〈レスリング〉世界カデット選手権

世界カデットレスリング選手権大会が7月2日から8日までの7日間、ザグレブ(クロアチア)で開催され、日本代表として佐藤君、高橋君、鏡さん、尾崎さんの4名が出場しました。

男子フリースタイル65kg級に出場した佐藤君は、1・2回戦をテクニカルフォール勝ちし、順調に勝ち進んでいくかと思われましたが、3回戦でイランの選手に5対6の僅差で敗れ、7位という結果に終わりました。

同じく51kg級に出場した高橋君は、初の国際大会ということもあり固さも見られましたが、準決勝では欧州カデット選手権優勝のトルコの選手を12-8で破り、決勝進出を決めました。決勝ではアメリカの選手と対戦し、第1ピリオドはリードしていたものの、第2ピリオドでタックルに入ったところを逆にとられフォール負けを喫し、2位となりました。

### 《高橋君のコメント》

『僕は、今回初めての国際大会に出場しました。初めての国際大会ということもあり、プレッシャーや心配でとても緊張していました。試合では、自分の得意なタックルが出来たが、決勝ではタックルに入った所をカウンターで返されてしまい負けてしまいました。決勝ではタックルからの処理がうまくいかず負けてしまいました。得る事も多くありました。今回の大会で得た事を自身につなげ、反省点は改善して次の大会で優勝したいです。』

女子57kg級に出場した尾崎さんは、準決勝までの3試合すべて開始1分以内でのテクニカルフォール勝ちという圧倒的な攻撃力で決勝に進出し、決勝でも開始36秒という速さでテクニカルフォール勝ち、初優勝を果たしました。

鏡さんは、昨年度70kg級で優勝を果たしており、連覇を狙って階級を上げて、73kg級に出場。決勝では5月に開催されたアジア・カデット選手権でも対戦し、勝利しているチアン・キアン選手(中国)にテクニカルフォール勝ちをおさめ、4試合全てテクニカルフォールという内容で、昨年の優勝に続く2連覇を達成しました。

また、国別対抗では男子が83点をマークし、昨年と同じ5位。女子は210点をマークし、2位のインド(111点)に大差をつけ、5年連続優勝を達成しました。



【左:鏡さん(女子73kg級)】



【右:尾崎さん(女子57kg級)】

## 〈飛込〉世界ジュニア選手権

世界ジュニア飛込選手権大会が7月26日から31日までの6日間、43カ国から233名の選手が参加し、キエフ(ウクライナ)で開催されました。11期生として今年度入校した安田さんが日本代表としてグループA(16・17歳)の種目に出場しました。3m飛板飛込は18位、高飛込は13位で、両種目での決勝進出は惜しくも逃しました。

高飛込では、前半はキレの良い入水で5~7位をキープしていましたが、6ラウンド目の演技でのミスが響き、最終の8ラウンドでも44点と得点が伸びず合計得点352.65点で、予選敗退となりました。決勝進出ラインの12位の選手と0.5点差という僅差であり、非常に悔やまれる結果でした。



【安田さん(左)と金戸さん(右)】

しかし、金戸選手(セントラルスポーツダイビングチーム/日出中)と組んで出場した3mシンクロでは、第1ラウンドで唯一50点台をマークし、トップに立ちました。第2ラウンドでも、落ち着いた演技で1位を保ちましたが、その後、中国やロシアなど難易度に勝るチームに抜かれ、最終の5ラウンド目では安定した演技で55点台の得点をマークし、合計254.28点で3位となり銅メダルを獲得しました。2位のロシアとは0.72点差という接戦となった試合でした。金メダル獲得はなりませんでしたが、体格に勝る諸外国のチームの中で堂々と渡り合っただけの銅メダル獲得は会場からも多くの賞賛が送られました。

またJOCエリートアカデミー飛込チームにとっても、世界ジュニア飛込選手権での初めてのメダルであり、チームとして飛躍する大きなきっかけとなることを期待しています。

## 〈卓球〉ワールドツアー プラチナ

ITTFワールドツアー プラチナ・韓国オープンが7月17日から22日まで、韓国中西部の都市デジョンで開催され、女子アンダー21(21歳以下)で、木原さんが優勝しました。  
(裏面へ続く)



【日本卓球協会ホームページより】

木原さんはワールドツアー初優勝で、「勝てない時期が続いていたので、今回の優勝は本当に嬉しいです」とのコメントを残し今回の優勝を心から喜んでいる様子でした。

ワールドツアーでもレベルの高い“プラチナ”大会での優勝であり、この優勝をきっかけにこれから続くワールドツアーでの活躍が期待されます。

同じく、女子アンダー21の部に出場した長崎さんは3位、男子アンダー21に出場した宇田君はベスト8でした。

一方、シニア男子シングルスに出場した張本君は2回戦で中国選手に破れ上位進出はなりませんでした。

## 〈ボート〉

### フランスジュニアボート選手権



【女子19歳以下エイト表彰式の様子】

松田さんがエギュベレットローイングクラブの一員として、フランスジュニアボート選手権大会アンダー19エイトに出場しました。松田さんは4月から7月までに計5週間、エギュベレットローイングクラブに所属し、ホームステイをしながらこの大会に向けてトレーニングをしてきました。

決勝レースはライバルクラブとの接戦が予想されましたが、前半から積極的なレース運びで常にリードを奪い、優勝を果たしました。この大会はフランスの次代を担うジュニアが出場する活気ある大会で、メダルを獲得した選手にとって次のステップに向けてモチベーションを高める力となるものでした。

松田さんは長期間の海外合宿を通し、心身共に大きく成長した様子で、特に言葉が通じない中でも積極的にチームメイトとコミュニケーションをとっている姿が印象的でした。今回の経験を活かし、更に成長してくれることを期待しています。

《松田さんのコメント》

『今回私は合計5週間フランスに滞在し、クラブチームでエイトでトレーニングをしました。宿泊はチームのメンバーの選手の家でホームステイをしました。1番の違いは私達の練習と比べウエイトレニングでの体作りを大切にしている所と感じました。また、お互いに英語がペラペラな訳ではなく、コミュニケーションを取る事に苦戦しましたが、初めての事ばかりで貴重な体験ができました。今回学んだ事をこれからの競技生活に活かしたいです。』

## 〈フェンシング〉全国中学生選手権

全国中学生フェンシング選手権大会が、7月20日から22日まで駒沢オリンピック公園総合運動場(東京)で開催され、サーブル個人で坪君が初優勝を飾りました。

この大会は、中学3年生の坪君にとって最後の全国中学生大会であり、今年の最大の目標とする大会でした。また、大会前から優勝候補の筆頭として注目を集めており、坪君にとって様々なプレッシャーとの戦いでもありました。

予選リーグを全勝で勝ち上がると、決勝までの4試合は、大差をつけて勝利しました。決勝でも安定した力を発揮、15対7で勝利し、初優勝を飾りました。

この勢いを秋から始まる国際大会でも持続させて、海外の強豪を破り、上位入賞を果たすことを期待しています。



## 〈アンチ・ドーピング教室〉

今年度のアンチ・ドーピング教室を7月16日、日本アンチ・ドーピング機構(JADA)教育・国際部 教育・情報グループの協力を得て、開催しました。今回も、年齢や競技力が個人によって異なることから、二つのクラスに分けて実施しました。

### ○エリートクラス(ドーピング検査対象レベルのアカデミー生)

- ・目的…トップアスリートに必要な知識と心構えを理解する。
- ・内容…前半:これまでの違反の事例などについて学ぶ  
後半:グループでの活動を通じて、アスリートにとって大切なことを学ぶ

### ○アカデミークラス(第11期生を中心としたアカデミー生)

- ・目的…スポーツの価値を守るために、自分がどのようにスポーツや生活に臨むべきかを考え、宣言する。
- ・内容…前半:スポーツの価値を考える  
後半:「ドーピング」と「アンチ・ドーピング」について理解を深める



公益財団法人 日本オリンピック委員会

JOCエリートアカデミー事業



〒115-0056 東京都北区西が丘3-15-1

味の素ナショナルトレーニングセンター

TEL:03(5963)0355/FAX:03(5963)0356

JOCエリートアカデミーだよりは以下のHPでもご覧いただけます。

<http://www.joc.or.jp/training/ntc/eliteacademy>